

第 10 章

電気・ガス・上下水道

第 10 章 電気・ガス・上下水道

電気

平成13年度における電灯需要の契約口数をみると、477万3150口にのぼり、前年度の471万8507口に比べ1.2%(5万4643口)の増加となった。その内訳をみると、従量制が410万1763口(前年度比1.2%増)となっている。また、使用電力量は188億7781万kWhで、前年度に比べ0.6%の減少となり、1口当たりの年間使用量は3955kWh(前年度比1.7%減)となった。

一方、電力需要についてみると、契約口数は53万7553口で、前年度に比べ1.2%の減少となった。また、使用電力量も402億8846万kWhで、前年度に比べ2.7%の減少となっている。

ガス

平成13年度中の大阪ガス株式会社における都市ガスの生産量は49億9357万m³で、前年度の51億3552万m³に比べ2.8%の減少となった。

また、消費量は38億5203万m³で、前年度に比べ3.3%の減少となった。これを内訳でみると、工業用が17億9109万m³で、前年度に比べ6.2%の減少となり、商業用が5億7432万m³で、前年度に比べ2.2%の増加、公用が1億5766万m³で、前年度に比べ1.8%の増加、医療用が1億5766万m³で、前年度に比べ5.8%の増加となり、家庭用が12億1606万m³で、前年度に比べ2.6%の減少となっている。

なお、大阪府内の需要家の総数は370万4850戸で、前年度に比べ1.1%の増加となっている。

上下水道

・上水道 平成13年度における上水道の総給水量をみると、年間給水量は13億72万m³で、前年度に比べ1.7%の減少となっている。これを地域別にみると、大阪市地域が4億9381万m³で、全体の40.0%を占めている。

栓数は304万7383件で、前年度に比べ1.2%の増加となっている。

また、1人1日平均給水量は409lで、前年度に比べ1.9%の減少となっている。これを市町村別にみると、1位が大阪市の528lで、以下、泉佐野市の468l、岬町の429lの順となっている。

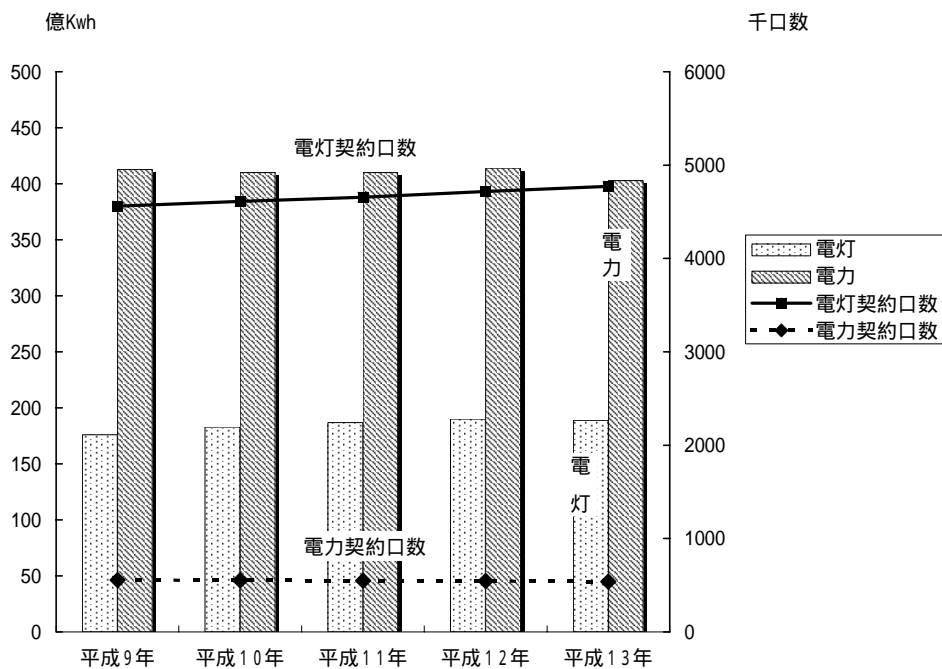
工業用水の使用状況をみると、1日当たりの総使用量は、前年比3.5%減の837万4127m³となっている。

このうち、淡水の使用量は787万5443m³で、前年に比べ3.6%の減少となっており、全体の94.0%を占めている。これを水源別(淡水)にみると、回収水が大半の89.8%を占めており、その内訳は、化学が52.0%、石油・石炭が23.3%、鉄鋼が13.8%と、この3業種で回収水全体の約9割を占めている。

・下水道 府内における平成13年度末の下水道の普及率をみると、処理人口施設が86.3%で、前年度より2.3ポイントの上昇となっている。このうち、大阪市地域は排水施設、処理施設ともに100%と、全域に普及している。

また、都市下水路延長では、公共下水道への転用がすすんでいるが、都市計画決定が1万2582m、供用中が1万3338mとなっている。

使用電力量・契約口数の推移



地域別都市ガス消費量の構成比 (平成13年度)

